



山形県感染症発生動向調査

山形県感染症情報センター(山形県衛生研究所)
TEL.023-627-1109, FAX023-641-7486
URL <http://www.eiken.yamagata.yamagata.jp/>

平成29年第35週(8月28日~9月3日)

2017年9月6日 発行

<定点把握感染症>

※表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数

※定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少 ※◎:警報レベル ○:注意報レベル

疾患名	全国	山形県			村山地区			最上地区			置賜地区			庄内地区			累積(県)
	第34週	第34週	第35週	増減	第34週	第35週	増減	第34週	第35週	増減	第34週	第35週	増減	第34週	第35週	増減	
インフルエンザ定点 (定点医療機関数)		(48)			(20)			(5)			(10)			(13)			
インフルエンザ	604 0.12		1 0.02	▲		1 0.05	▲										11418
小児科定点 (定点医療機関数)		(30)			(13)			(3)			(6)			(8)			
RSウイルス感染症	6601 2.11	128 4.27	253 8.43	▲	66 5.08	107 8.23	▲	5 1.67	9 3.00	▲	49 8.17	122 20.33	▲	8 1.00	15 1.88	▲	723
咽頭結膜熱	1395 0.45	23 0.77	16 0.53	▼	13 1.00	11 0.85	▼	3 1.00		▼	6 1.00	1 0.17	▽	1 0.13	4 0.50	▲	642
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3551 1.14	51 1.70	62 2.07	▲	21 1.62	30 2.31	▲		1 0.33	▲	23 3.83	23 3.83		7 0.88	8 1.00	▲	5135
感染性胃腸炎	10239 3.28	91 3.03	98 3.27	▲	41 3.15	44 3.38	▲	2 0.67	4 1.33	▲	25 4.17	27 4.50	▲	23 2.88	23 2.88		5475
水痘	649 0.21	14 0.47	2 0.07	▽				11 3.67	1 0.33	▽		1 0.17	▲	3 0.38		▽	443
手足口病	18339 5.87	287 ◎9.57	319 ◎10.63	▲	69 ◎5.31	71 ◎5.46	▲	8 ◎2.67	21 ◎7.00	▲	97 ◎16.17	110 ◎18.33	▲	113 ◎14.13	117 ◎14.63	▲	2446
伝染性紅斑	220 0.07	17 0.57	20 0.67	▲		3 0.23	▲				17 ◎2.83	17 ◎2.83					505
突発性発しん	1411 0.45	14 0.47	21 0.70	▲	3 0.23	9 0.69	▲	1 0.33	3 1.00	▲	4 0.67	5 0.83	▲	6 0.75	4 0.50	▽	668
百日咳	35 0.01																22
ヘルパンギーナ	4814 1.54	139 ◎4.63	174 ◎5.80	▲	33 2.54	38 2.92	▲	1 0.33	5 1.67	▲	80 ◎13.33	76 ◎12.67	▽	25 3.13	55 ◎6.88	▲	992
流行性耳下腺炎	1214 0.39	7 0.23	6 0.20	▽	3 0.23	3 0.23					3 0.50	2 0.33	▽	1 0.13	1 0.13		487
眼科定点 (定点医療機関数)		(8)			(4)			(1)			(1)			(2)			
急性出血性結膜炎	16 0.02																
流行性角結膜炎	744 1.07	7 0.88		▽	7 1.75		▽										67
基幹定点 (定点医療機関数)		(10)			(4)			(1)			(2)			(3)			
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	2 0.00																78
クラミジア肺炎	6 0.01																
マイコプラズマ肺炎	125 0.26	1 0.10	4 0.40	▲		3 0.75	▲		1 1.00	▲				1 0.33		▼	144
細菌性髄膜炎	8 0.02																2
無菌性髄膜炎	27 0.06																7

<全数把握感染症>

疾患名	類型	報告数				備考
		村山	最上	置賜	庄内	
結核	患者		1	1		
	無症状病原体保有者	1		2		
腸管出血性大腸菌感染症	無症状病原体保有者	1				型別:O26 VT1。
レジオネラ症	患者	1				
カルバペネム耐性腸内細菌感染症	患者	1				90日以内の海外渡航歴無し。
侵襲性肺炎球菌感染症	患者				1	※第34週追加報告分。肺炎球菌ワクチン接種歴不明。

<通信欄>

※トピックスで、RSウイルス感染症、手足口病、ヘルパンギーナについて掲載しています。
※第35週に報告されたインフルエンザの迅速キットによる型別は、A型(1件)です。

※定点把握感染症のグラフ・全数把握感染症の年間累積数については別紙(グラフページ)をご覧ください。

<定点把握感染症 報告患者数 年齢別>

インフルエンザ定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳		
インフルエンザ												1				
	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～									合計	
															1	
小児科定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～	合計	
RSウイルス感染症	19	52	110	39	26	4	1	1							1	253
咽頭結膜熱			3	2	2	3	1	3	1	1						16
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			7	5	9	5	10	7	8	4	1	3	2	1	62	
感染性胃腸炎		8	17	12	8	9	10	7	3	1	4	15	2	2	98	
水痘							1				1				2	
手足口病	5	37	111	80	38	15	8	10	5	2	2	3		3	319	
伝染性紅斑			2	7	2	2	2	3		1	1				20	
突発性発しん	1	9	8	3											21	
百日咳																
ヘルパンギーナ		11	46	45	24	19	11	7	4	1	2	4			174	
流行性耳下腺炎			1			3	1	1							6	

<平成29年7月 月報>

2017年8月23日 発行

疾患名	山形県		村山地区		最上地区		置賜地区		庄内地区		累積(県) 1～7月	
	6月	7月	6月	7月	6月	7月	6月	7月	6月	7月		
STD定点 (定点医療機関数)	(10)		(4)		(1)		(2)		(3)			
性器クラミジア感染症	報告数	20	20	6	9	12	7		1	2	3	126
	定点当り	2.00	2.00	1.50	2.25	12.00	7.00		0.50	0.67	1.00	
性器ヘルペスウイルス感染症	報告数	5	2	2	2	1		1		1		44
	定点当り	0.50	0.20	0.50	0.50	1.00		0.50		0.33		
尖圭コンジローマ	報告数	2	3	2	2						1	10
	定点当り	0.20	0.30	0.50	0.50						0.33	
淋菌感染症	報告数	6	5	2	1			2		2	4	27
	定点当り	0.60	0.50	0.50	0.25			1.00		0.67	1.33	
基幹定点 (定点医療機関数)	(10)		(4)		(1)		(2)		(3)			
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告数	7	5		1	4		1		2	4	46
	定点当り	0.70	0.50		0.25	4.00		0.50		0.67	1.33	
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	報告数	24	23	13	14		2	2		11	5	144
	定点当り	2.40	2.30	3.25	3.50		2.00	1.00		3.67	1.67	
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告数											2
	定点当り											

<トピックス>

【RSウイルス感染症情報】

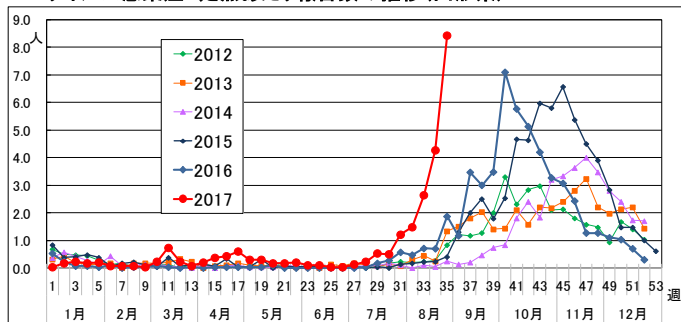
RSウイルス感染症の県全体の定点当たり報告数が、過去5年間で最も多くなっています。通常秋から冬にかけて流行しますが、年々流行時期が早まる傾向があり、今年は例年より1ヶ月以上早く、流行が開始しています。

・第35週 定点当たり報告数 (山形県:8.4人)

村山地区 8.2人、最上地区 3.0人、置賜地区 20.3人、庄内地区 1.9人

※警報・注意報の基準値は設定されていません。

・RSウイルス感染症 定点あたり報告数の推移(山形県)



RSウイルス感染症は、乳児によくみられる急性呼吸器感染症です。潜伏期間は4～6日、症状は軽い風邪様の症状から肺炎まで様々です。2歳までにほぼ100%の人が感染し、生涯にわたり何度も繰り返し感染発症します。初めて感染した場合は症状が重くなりやすく、特に新生児や生後6ヶ月以内の乳児は注意が必要です。

感染経路は、咳やくしゃみによる飛沫感染、ウイルスがついている物を介しての接触感染などがあります。予防法としては、手洗いの励行、マスクの着用、ウイルスの付いている物の消毒が有効です。

【手足口病情報】

手足口病の定点あたり報告数が、県内4地区全てにおいて警報レベルとなっています。

・手足口病:警報開始基準値:5人 警報終息基準値:2人

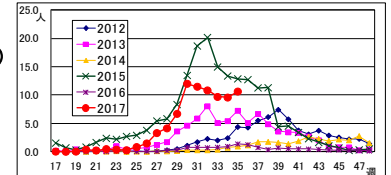
・第35週 定点当たり報告数 (山形県:10.6人)

村山地区 5.5人、最上地区 7.0人、置賜地区 18.3人、庄内地区 14.6人

1. ウイルス分離・検出状況 :山形県衛生研究所(8月30日現在)

2017年に入って、山形県内の手足口病の患者から、コクサッキーウイルスA6が33件、エンテロ71が1件検出されています。

2. 流行期の定点あたり報告数の推移(山形県)



【ヘルパンギーナ情報】

ヘルパンギーナの定点あたり報告数が、置賜地区と庄内地区で警報レベルとなっており、県平均の定点あたり報告数も警報レベルとなっています。

・ヘルパンギーナ:警報開始基準値:6人 警報終息基準値:2人

・第35週 定点当たり報告数 (山形県:5.8人)

村山地区 2.9人、最上地区 1.7人、置賜地区 12.7人、庄内地区 6.9人

1. ウイルス分離・検出状況 :山形県衛生研究所(8月30日現在)

2017年に入って、山形県内のヘルパンギーナの患者から、コクサッキーウイルスA6が18件検出されています。